

1. 平成22年産大豆入札取引の概況

(1) 取引参加者登録状況

売り手登録者は、前年産と同じく全農、全集連の2者であった。

買い手登録者は、法人、個人合わせて180者で前年産の184者から4者減少した。

また、同一の法人で本社、支社等がそれぞれ参加する場合にそれぞれを1とした事業所数ベースの登録者数は、187者で前年産の191者から4者減少した。

(表I-1-1)

(以下、入札者数等は、事業所ベースによる。)

(2) 入札取引開催状況と入札参加状況

平成22年12月15日の第1回から平成23年9月7日の第15回まで開催した。月別には12月、3月、5月、9月各1回、1月、2月、4月、6月～8月各月2回開催した。(表I-1-2)

第6回入札取引を3月16日に予定し、3月11日に上場内容を買い手に送達した。しかし、3月11日午後東北太平洋沖大地震が発生し、3月14日に売り手(全農)から東北、関東の保管倉庫の被災で上場大豆の受渡に支障が出る可能性があるとの報告があったこと、電話回線の普通や停電により、ファクシミリの利用に支障があることから予定通りの取引の開催は不可能と判断し、3月16日の取引を中止することとして買い手に通知した。

地震被害の判明、通信環境の正常化を待って第6回入札取引を4月13日に再開した。

各回の入札者数は、大震災後に開催した第6回(4月13日)の80者が最も多く、第15回(9月7日)の4者が最も少なかった。(図I-1-1)

入札回数別買い手登録者の分布をみると、前年産に比較して入札回数6回以上の割合は前年産並であったが、一度も入札しなかった買い手登録者は、71者(前年産66者)で前年産を上回った。(表I-1-3)

(3) 国産大豆の需給と入札取引数量

平成22年産大豆の生産は、作付面積が全国で7千7百ヘクタール減少したが、作柄は前年産を上回り、収穫量は、前年産に比べ74千トンの減少に止まり、223千トンとなった。(表I-1-4)

府県では作付面積が減少、作柄の低下により、収穫量が減少したが、北海道では、作付面積が前年並みで作柄も良かったことから、収穫量は9千3百トンの増加となった。

国産大豆の需給状況をに示す。(表I-1-5)

平成22年産は、前年産に比べて、収穫量が7千トン、全農、全集連の集荷数量は前年に対し5千5百トン減の174千トンとなった。(表I-1-5)

入札取引による販売数量（以下、「落札数量」という。）の割合は、１９年産では３３．９％と価格形成上望ましいとする目標の１／３以上を達成することができたが、２２年産では、２０年産、２１年産に続いて１１％台と低い水準となった。

平成１８年産から平成２２年産までの月別の落札数量と平均落札価格の推移をグラフに示す。（図Ⅰ－１－２）

各月の落札数量は、１９年産に比較して大きく減少した２０年産以降、毎年産、低調な取引で推移した。平成２２年産では、震災後の４月のように、やや多い月が見られる。この間、平均落札価格は、安定的に推移している。

売り手の販売数量を入札取引、相対取引、契約栽培取引の３種類の販売方法別数量に区分してみると、入札による販売数量は、平成２０年産以降２万トン台で推移、契約栽培取引は２１年産、２２年産では６万トン程度であり、相対取引による数量が多くなっている。なお、２２年産では宮城県において大震災、津波被害があり、集荷済みの大豆の一部が被災、滅失したため、販売数量合計は、集荷数量を下回った。（図Ⅰ－１－３、表Ⅰ－１－６）

産地品種銘柄毎の集荷数量と落札数量を比較したのが表Ⅰ－１－７である。

主要な銘柄のうち、集荷数量に対する落札数量の割合（落札割合）が３０％を上回った銘柄は、三重フクユタカ及び愛知フクユタカ、同じく１０％を下回った銘柄は、北海道とよまさり、佐賀フクユタカ、福岡フクユタカ等であった。

（４） 入札・落札状況

入札状況を上場・入札ロット数の比較でみると、震災後開催の第６回以降では、入札ロット数が上場ロット数を上回る回が多くなった。

落札結果をみると、第６回以降競争の結果による不落札が多くなり、落札下限価格未達による不落札が少ない回がしばらく続く状況で推移した。

（図Ⅰ－１－４、５）

月別落札状況は、表Ⅰ－１－８のとおりである。

上場数量に対する落札数量の割合（落札率）を月別にみると、最高が震災直後の４月の４３．６％、最低が１２月の１１．６％であった。

月別落札率を過去の年産と比較すると、３月以降８月までは前年、前々年を上回って推移した。（図Ⅰ－１－６）

各月までの落札数量の累積グラフをみると、前年産に重なる形で推移した。（図Ⅰ－１－７）

（５） 落札価格

１俵（６０ｋｇ）当たり年産平均落札価格（普通大豆）は、前年産（６，６７１円）を上回る、６，８８８円であった。（表Ⅰ－１－９）

月別平均価格の推移を見ると大震災前の３月までは前年産を下回ったが、震災後の４月以降前年産を上回って推移した。（図Ⅰ－１－８）

産地品種銘柄別の落札価格をみると、前年産に比べて価格が高い銘柄が多く、

主要銘柄では北陸産エンレイ、九州産フクユタカの価格が上がった。前年産を下回った銘柄は、前年産で気象災害のために作柄が悪かった東海産フクユタカその他、北海道スズマル、北海道音更大袖振等である。(表Ⅰ－１－１１)

主要産地品種銘柄のうち、代表的なものの月別落札価格の推移を過年産と比較したグラフを以下に示す。(図Ⅰ－１－９～１１)

北海道の代表的銘柄である北海道産とよまさりは、前年産を下回る水準で推移したが、その中でも前半は高めに、後半は価格が下がる形で推移した。(図Ⅰ－１－９)

とよまさりを構成する品種のうち、豆腐用に仕向けられるトヨムスメが前半に多く落札したが、後半は上場されなくなり、ユキホマレ等煮豆に仕向けられる品種のみとなり、価格も低下したことによる。とよまさりの品種別落札状況を示す。(表Ⅰ－１－１２)

主に豆腐用に仕向けられる銘柄のうち、九州産フクユタカは、前年並みで推移したが、５月以降上昇傾向を示した。(図Ⅰ－１－１０)

新潟県を始め、主に日本海沿岸各県で生産されるエンレイは、前年産を上回る水準で推移した。(図Ⅰ－１－１１)

代表的な納豆仕向用銘柄である北海道スズマル、ユキシズカ、茨城納豆小粒は、落札が少なく、価格形成が散発的であったが、概ね前年並みの水準となった。(図Ⅰ－１－１２、表Ⅰ－１－１３～１４)

内外の大豆価格の推移を示す。(図Ⅰ－１－１３)

国内産と同じ用途と考えられる海上コンテナによる輸入大豆の価格は、４０００円程度で推移しており、７０００円程度で安定的に推移する国内産価格との較差は３０００円程度の状況が持続している。

平成22年産大豆入札取引年報

I－1 図・表

表 I-1-1 登録者数推移

区分	平成22年産	前年産
売り手登録者	2	2
買い手登録者 (事業所数)	187	191
事業体数	180	184
うち新規	3	6
うち継続	177	178

注1. 買い手登録者数(事業所数)は、同一企業で複数の事業所(本店、支店等)を登録した場合、それぞれを1と数えた数である。

注2. 継続には、会社組織が変更になる等で新規の組織が以前の組織から業務を承継した場合を含む。

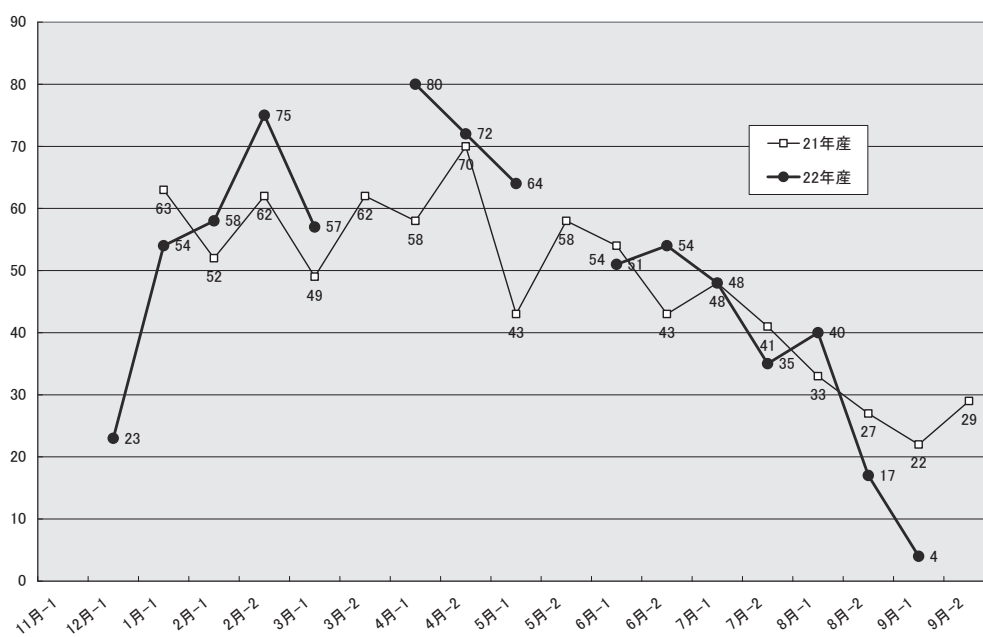
2

表 I-1-2 開催状況

入札回	入札日	上場者 者	入札者 者	ロット数		
				上場	入札	入札/上場
1	平成22年12月15日	2	23	122	60	0.5
12月計				122	60	0.5
2	平成23年1月19日	2	54	259	180	0.7
1月計				259	180	0.7
3	2月2日	2	58	360	229	0.6
4	2月16日	2	75	467	330	0.7
2月計				827	559	0.7
5	3月2日	2	57	498	322	0.6
3月計				498	322	0.6
6	4月13日	2	80	682	732	1.1
7	4月27日	2	72	472	595	1.3
4月計				1,154	1,327	1.1
8	5月18日	2	64	502	492	1.0
5月計				502	492	1.0
9	6月8日	2	51	438	396	0.9
10	6月22日	1	54	395	499	1.3
6月計				833	895	1.1
11	7月6日	1	48	300	409	1.4
12	7月20日	1	35	191	278	1.5
7月計				491	687	1.4
13	8月10日	1	40	125	171	1.4
14	8月24日	1	17	76	64	0.8
8月計				201	235	1.2
15	9月7日	1	4	32	13	0.4
9月計				32	13	0.4
22年産累計				4,919	4,770	1.0

3

図 I - 1 - 1 各回入札者数推移



4

表 I - 1 - 3 入札回数別買い手登録者数(年産比較)

区 分	平成20年産 (19回)	平成21年産 (17回)	平成22年産 (15回)	割 合		
				平成20年産	平成21年産	平成22年産
買い手登録者数	189	191	187	100.0%	100.0%	100.0%
0回	56	66	71	29.6%	34.6%	38.0%
1～5回	52	60	52	27.5%	31.4%	27.8%
6～10回	42	37	46	22.2%	19.4%	24.6%
11回以上	39	28	18	20.6%	14.7%	9.6%

5

表 I - 1 - 4 大豆生産概況

	20年産	21年産	22年産	対前年増減
作付け面積(ha)				
全国	147,100	145,400	137,700	-7,700
北海道	24,000	24,500	24,400	-100
都府県	123,100	120,900	113,200	-7,700
収穫量(t)				
全国	261,700	229,900	222,500	-7,400
北海道	56,800	48,500	57,800	9,300
都府県	204,900	181,400	164,700	-16,700
単収(kg/10a)				
全国	178	158	162	4
北海道	237	198	237	39
都府県	166	150	145	-5

資料：農林水産省作物統計

6

表 I - 1 - 5 国産大豆需給の推移

事項	(単位)	平成18年産	平成19年産	平成20年産	平成21年産 a	平成22年産 c	増減
作付面積	ha	142,100	138,300	147,100	145,400	137,700	c-a -7,700
①収穫量	トン	229,200	226,700	261,700	229,900	222,500	c-a -7,400
②検査数量	トン	172,780	184,649	218,771	193,446	188,022	c-a -5,424
普通・特定加工用②a	トン	171,762	183,170	216,862	179,506	186,237	c-a 6,731
種子用	トン	1,017	1,480	1,909	2,177	1,785	c-a -392
①-②		56,420	42,051	42,929	36,454	34,478	c-a -1,976
③集荷数量	トン	163,019	173,828	204,013	179,506	173,963	c-a -5,543
②a-③	トン	8,743	9,342	12,849	0	12,274	
④落札数量	トン	34,407	58,880	24,211	19,980	20,667	c-a 688
③-④ (契約栽培取引・ 相対取引計)	トン	128,612	114,948	179,802	159,527	153,296	c-a -6,231
④/③ (落札数量割合)	%	21.1%	33.9%	11.9%	11.1%	11.9%	

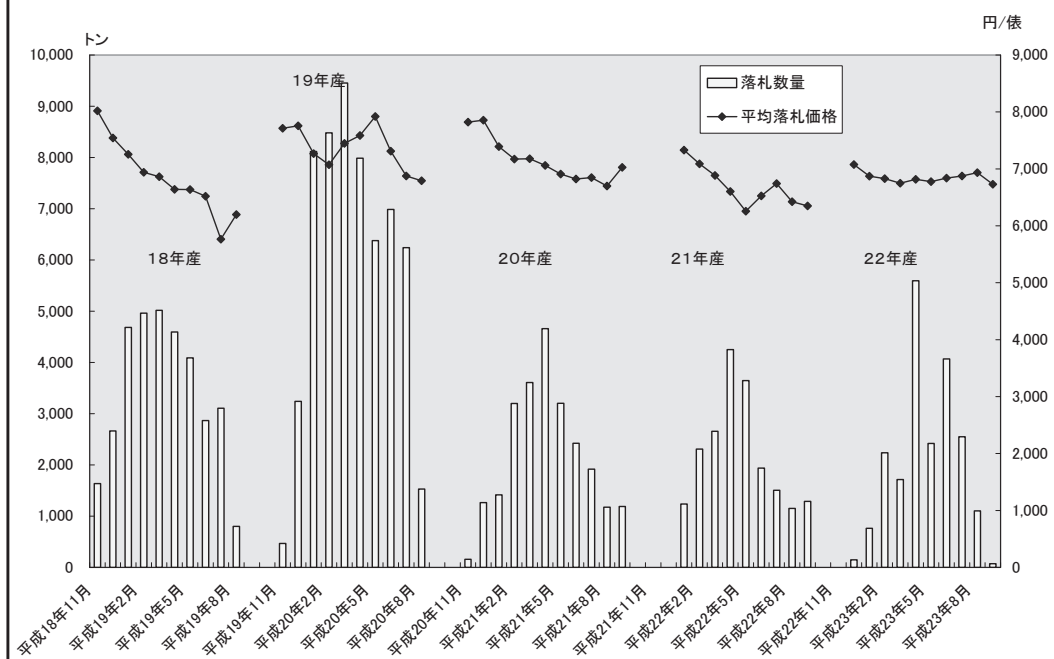
注1. 平成22年産検査数量(c欄)は、平成23年5月20日に農水省が公表した3月31日現在の確定値であり、東北地方太平洋沖地震の被災地については、一部未集計としている。

注2. 平成22年産の③集荷数量、④落札数量には、東日本大震災の被害によって滅失した数量や被災大豆として本来の用途以外の用途に販売した数量を含む。

資料：農林水産省作物統計、農林水産省生産局大豆検査結果

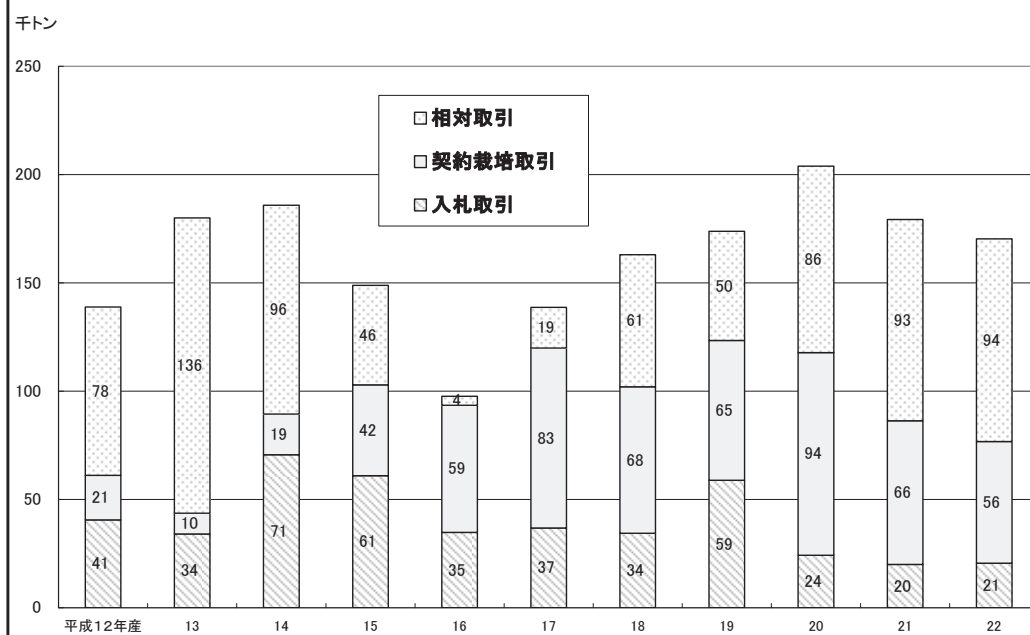
7

図 I - 1 - 2 月別落札数量・平均落札価格の推移



8

図 I - 1 - 3 販売方法別販売数量の推移



9

表 I - 1 - 6

年産	数量(トン)			計	割合(%)		
	入札取引	相対取引	契約栽培取引		入札取引	相対取引	契約栽培取引
平成12年	40,563	77,768	20,541	138,872	29.2%	56.0%	14.8%
13	34,051	136,313	9,624	179,988	18.9%	75.7%	5.3%
14	70,637	96,458	18,767	185,862	38.0%	51.9%	10.1%
15	60,936	45,893	41,993	148,822	40.9%	30.8%	28.2%
16	34,772	4,164	58,701	97,637	35.6%	4.3%	60.1%
17	36,866	18,835	83,034	138,735	26.6%	13.6%	59.9%
18	34,407	60,983	67,629	163,019	21.1%	37.4%	41.5%
19	58,879	50,410	64,540	173,829	33.9%	29.0%	37.1%
20	24,211	86,075	93,599	203,885	11.9%	42.2%	45.9%
21	19,980	92,925	66,363	179,268	11.1%	51.8%	37.0%
22	20,601	93,610	56,110	170,321	12.1%	55.0%	32.9%

10

表 I - 1 - 7 産地品種銘柄別販売実績

(産地品種銘柄の品種で粒区分で産地品種銘柄に該当しない数量を含む。)

単位:トン

① 集荷数量に対する落札数量の割合が30%以上の産地品種銘柄

銘柄名	集荷数量	落札数量	落札数量／集荷数量
大分エルスター	17	16	99.5%
島根フクユタカ	115	59	51.7%
愛媛フクユタカ	499	228	45.8%
鳥取すずこがね	23	10	42.2%
鳥取サチユタカ	464	188	40.5%
島根サチユタカ	380	130	34.2%
三重フクユタカ	4,933	1,638	33.2%
島根タマホマレ	91	30	32.6%
愛知フクユタカ	6,299	2,003	31.8%
山口サチユタカ	449	139	30.9%

11

② 集荷数量に対する落札数量の割合が30%未満の産地品種銘柄

銘柄名	集荷数量	落札数量	落札数量／集荷数量	銘柄名	集荷数量	落札数量	落札数量／集荷数量
岡山トヨシロメ	106	32	29.9%	石川エンレイ	1,279	149	11.6%
岐阜フクユタカ	4,269	1,196	28.0%	兵庫夢さよう	92	10	10.8%
滋賀フクユタカ	3,049	824	27.0%	鳥取タマホマレ	96	10	10.5%
高知フクユタカ	153	40	25.9%	広島サチユタカ	194	20	10.3%
長崎フクユタカ	707	176	24.9%	栃木タチナガハ	4,666	471	10.1%
熊本フクユタカ	3,721	849	22.8%	北海道スズマル	5,510	519	9.4%
福井エンレイ	1,107	248	22.4%	滋賀タマホマレ	955	89	9.3%
香川フクユタカ	45	10	21.9%	北海道とよまさり	30,029	2,507	8.3%
富山オオツル	541	119	21.9%	宮城ミヤギシロメ	5,263	397	7.5%
静岡フクユタカ	155	32	20.5%	山口フクユタカ	136	10	7.4%
富山エンレイ	5,824	1,191	20.5%	福岡フクユタカ	15,821	1,140	7.2%
群馬タチナガハ	198	40	20.0%	大分むらゆたか	276	20	7.2%
佐賀むらゆたか	2,752	494	18.0%	滋賀ことゆたか	1,304	89	6.8%
北海道音更大袖振	942	168	17.8%	秋田リュウホウ	5,289	328	6.2%
滋賀オオツル	1,733	303	17.5%	佐賀フクユタカ	14,483	896	6.2%
北海道秋田	1,045	179	17.1%	宮城タチナガハ	3,565	208	5.8%
福島タチナガハ	752	129	17.1%	北海道ユキシズカ	4,530	160	3.5%
新潟エンレイ	8,210	1,320	16.1%	山形あやこがね	288	10	3.4%
岡山サチユタカ	76	11	14.6%	岩手リュウホウ	973	30	3.1%
兵庫サチユタカ	135	20	14.6%	宮城あやこがね	1,096	30	2.7%
長野ナカセンナリ	1,312	188	14.3%	山形リュウホウ	1,201	30	2.5%
千葉フクユタカ	207	30	14.3%	茨城タチナガハ	1,703	40	2.3%
岩手ナンブシロメ	956	134	14.0%	茨城納豆小粒	2,035	40	1.9%
青森おおすず	4,912	681	13.9%	岩手スズカリ	633	10	1.6%
北海道ハヤヒカリ	449	59	13.2%	宮城タンレイ	4,906	30	0.6%

12

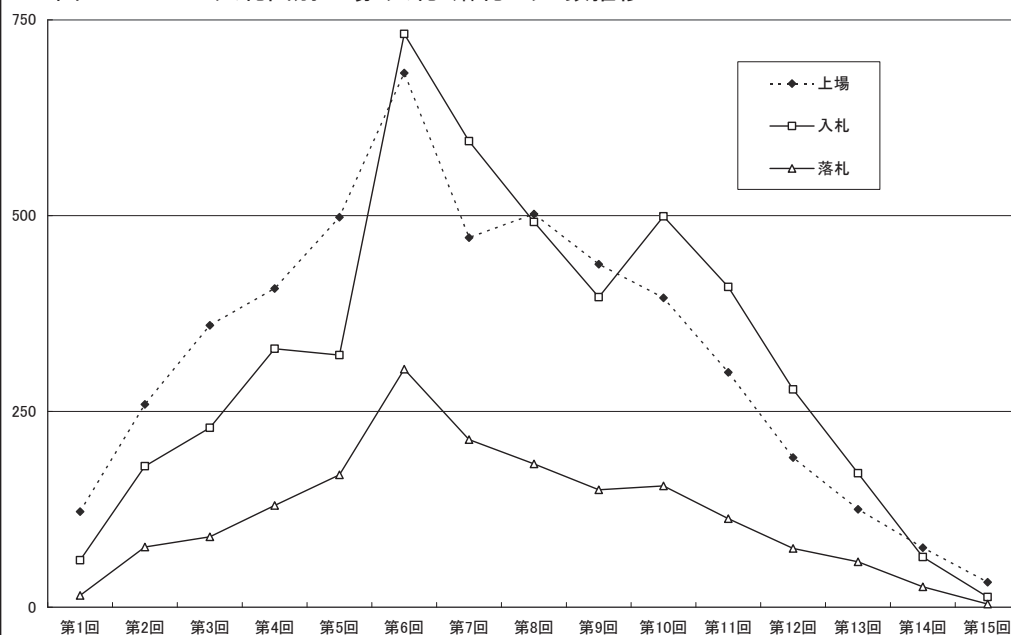
③ 落札実績のない産地品種銘柄

単位:トン

銘柄名	集荷数量	銘柄名	集荷数量	銘柄名	集荷数量	銘柄名	集荷数量
大分フクユタカ	1,161	北海道大袖の舞	76	岐阜タチナガハ	28	群馬ハタユタカ	6
宮城きぬさやか	787	秋田コスズ	74	栃木なごみまる	27	山形スズユタカ	5
山形タチユタカ	443	岩手コスズ	74	岡山タマホマレ	26	北海道スズヒメ	4
新潟あやこがね	358	宮城コスズ	62	新潟すずろまん	25	大分キヨミドリ	4
茨城ハタユタカ	270	滋賀エンレイ	59	福島コスズ	23	山形里のほほえみ	4
宮崎フクユタカ	248	福井あやこがね	58	岩手青丸くん	22	愛媛サチユタカ	3
大分トヨシロメ	242	秋田タチユタカ	55	石川コスズ	22	奈良あやみどり	2
栃木納豆小粒	236	北海道つるの子	50	広島アキシロメ	21	福島すずほのか	2
鹿児島フクユタカ	236	北海道ゆきびりか	47	新潟コスズ	21	栃木すずさやか	2
石川あやこがね	227	三重すずおとめ	43	兵庫オオツル	20	岩手すずほのか	2
北海道ツルムスメ	217	石川フクユタカ	43	秋田おおすず	20	福井里のほほえみ	1
長野ギンレイ	179	熊本すずおとめ	42	三重オオツル	19	栃木たまうらら	1
宮城すずほのか	163	島根ナカセンナリ	40	千葉サチユタカ	19	島根トヨシロメ	0
福島あやこがね	152	長野すずろまん	40	佐賀すずおとめ	19	千葉タチナガハ	0
福島スズユタカ	150	北海道大袖振	40	福井オオツル	18	宮城スズユタカ	0
長野タチナガハ	146	奈良サチユタカ	39	三重タマホマレ	16		
兵庫タマホマレ	125	新潟タチナガハ	37	埼玉白光	13		
福岡すずおとめ	108	山形すずかおり	37	岩手とよまさり	13		
岩手ミヤギシロメ	98	福岡むらゆたか	34	福井フクユタカ	12		
長野つぶほまれ	95	大分すずおとめ	33	福岡キヨミドリ	11		
青森オキシロメ	84	埼玉タチナガハ	31	北海道タマフクラ	6		
富山東山213号	83	熊本むらゆたか	31	福島ふくいぶき	6		

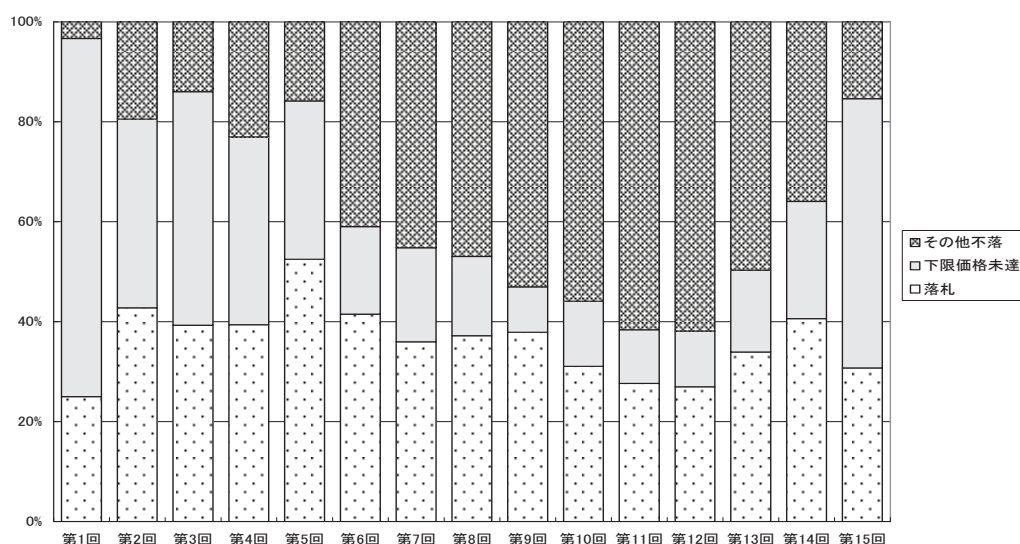
13

図 I-1-4 入札回別上場・入札・落札ロット数推移



14

図 I-1-5 落札結果別ロット数分布



注: 各回の買い手入札ロットの計を100とした場合のロット数割合
 数値は、各区分のロット数
 下限価格未達とは落札下限価格未満の入札のための不落をいう。

15

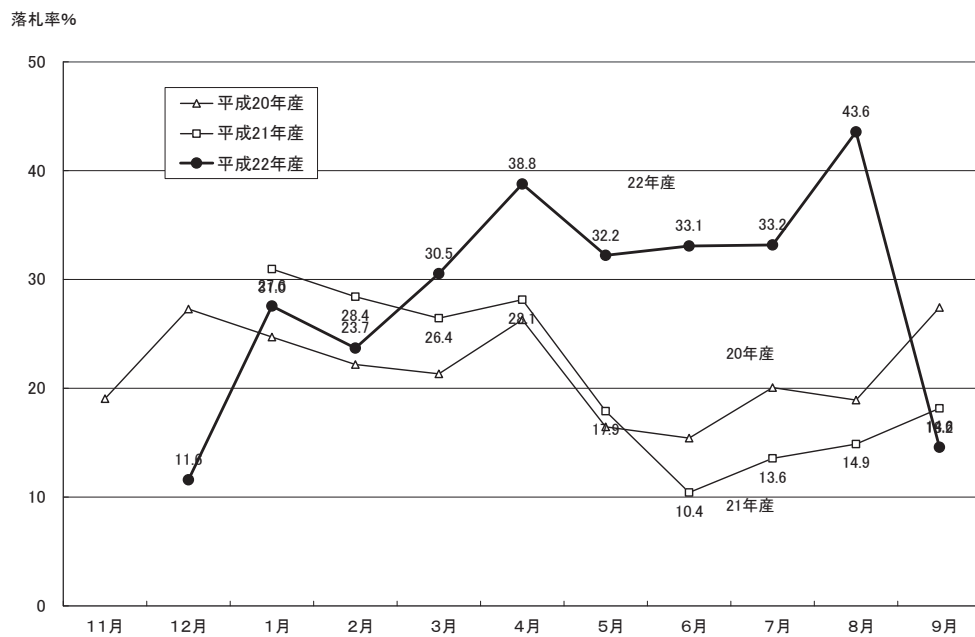
表 I－1－8 月別上場・落札数量・平均落札価格・落札率

区分	上場数量 トン	落札数量 トン	落札価格 円/60kg	落札率 %
12月計	1,281.8	148.5	7,077	11.6
1月計	2,762.9	761.4	6,873	27.6
2月計	9,444.4	2,237.7	6,829	23.7
3月計	5,615.5	1,714.7	6,749	30.5
4月計	14,429.3	5,594.9	6,818	38.8
5月計	7,505.7	2,418.7	6,776	32.2
6月計	12,296.7	4,067.5	6,837	33.1
7月計	7,683.6	2,548.5	6,874	33.2
8月計	2,530.1	1,102.3	6,933	43.6
9月計	501.9	73.2	6,729	14.6
22年産累計	64,052.0	20,667.4	6,829	32.3
21年産累計	102,179.9	19,979.6	6,654	19.6
20年産累計	115,553.0	24,210.9	7,079	21.0

注. 普通大豆・特定加工用大豆合計及びその加重平均落札価格である。

16

図1－1－6 月別落札率の推移(年産比較)



17

図 I - 1 - 7 月別累積落札数量の推移(年産比較)

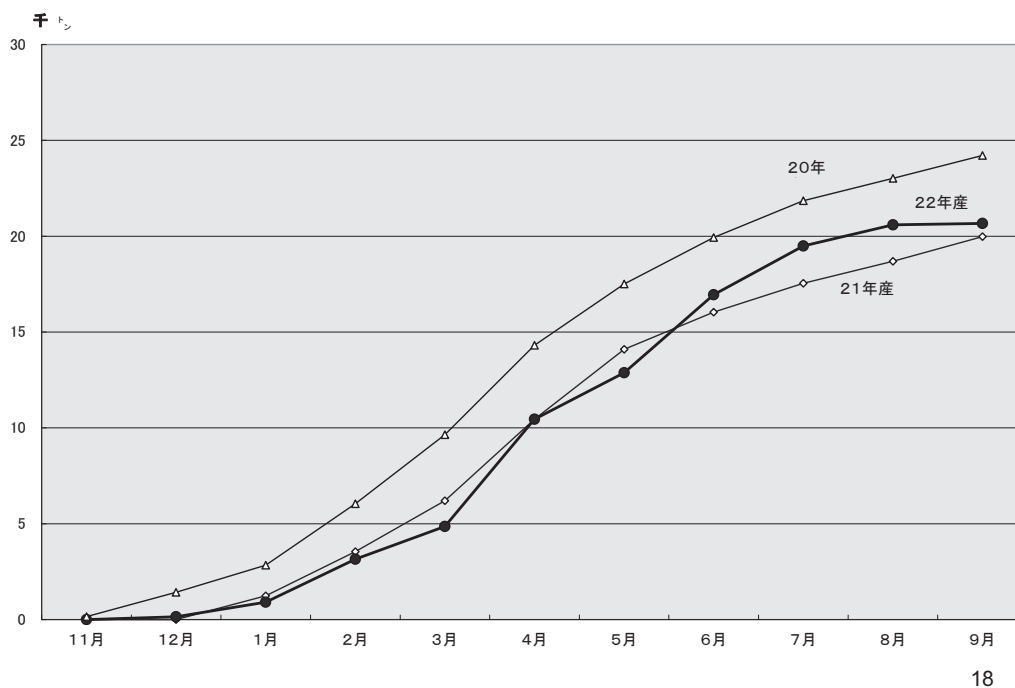
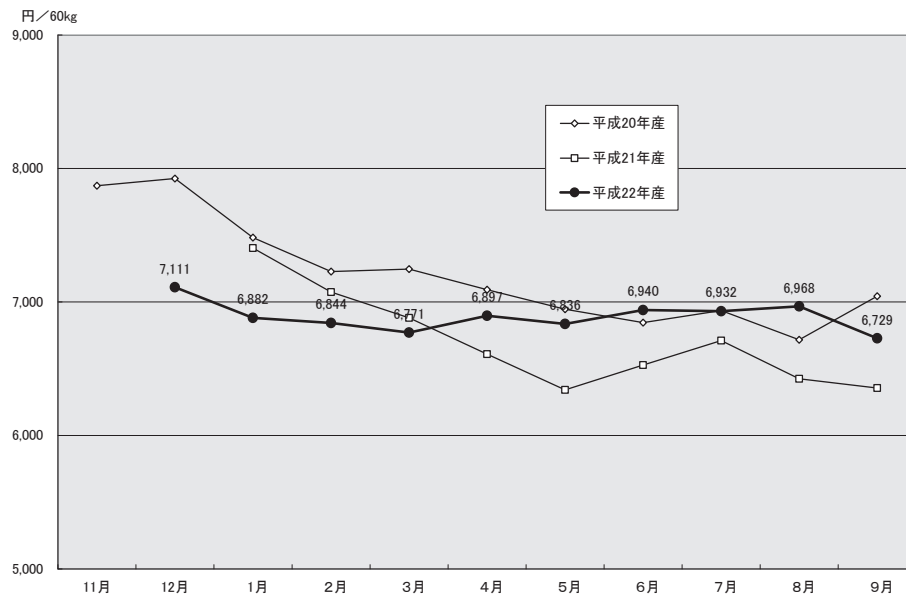


表 I - 1 - 9 月別平均落札価格(普通大豆・18～22年産)

単位: 円/60kg

年産	18	19	20	21	22
11月	8,183	8,691	7,872		
12月	7,697	7,957	7,925		7,111
1月	7,355	7,366	7,483	7,405	6,882
2月	7,048	7,144	7,228	7,075	6,844
3月	6,981	7,542	7,247	6,882	6,771
4月	6,730	7,764	7,093	6,610	6,897
5月	6,682	8,146	6,946	6,342	6,836
6月	6,594	7,490	6,846	6,528	6,940
7月	5,914	6,891	6,937	6,712	6,932
8月	6,236	6,899	6,717	6,426	6,968
9月			7,044	6,356	6,729
10月					
年産平均	6,937	7,492	7,129	6,671	6,888

図 I - 1 - 8 月別平均落札価格の推移(普通大豆・年産比較)



20

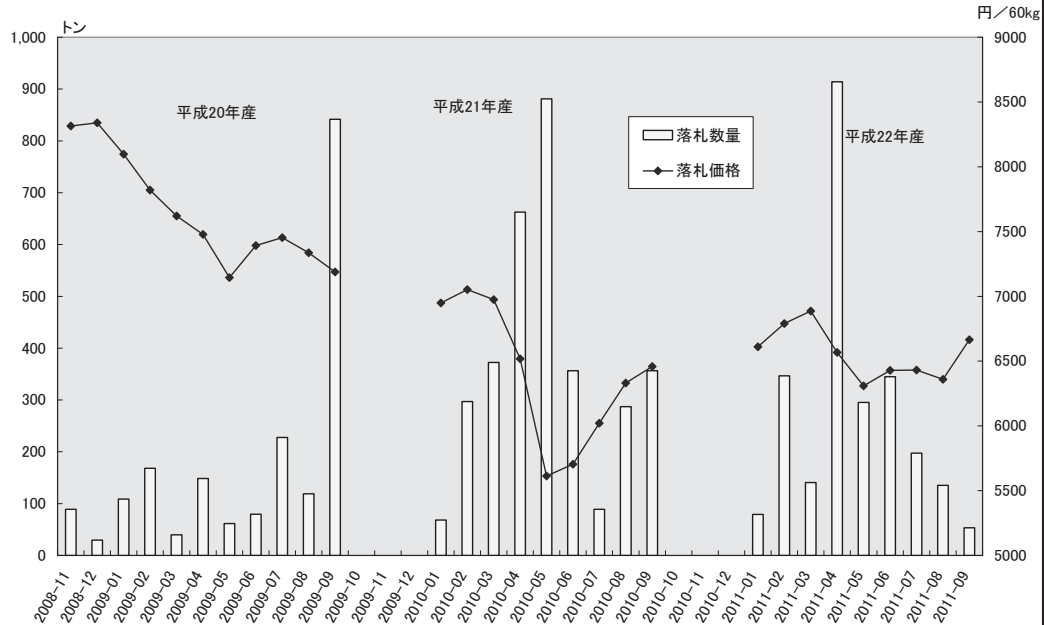
表 I - 1 - 11 産地品種銘柄別落札価格(前年産比較・前年差降順)

					単位: 円/60kg、トン				
産地品種	平成21年産	平成22年産	前年差	平成22年産 落札数量	産地品種	平成21年産	平成22年産	前年差	平成22年産 落札数量
北海道ハヤヒカリ	—	6,270	—	59	北海道とよまさり	6,266	6,548	282	2,507
岩手リュウホウ	—	6,933	—	30	佐賀むらゆたか	6,774	7,055	281	494
兵庫夢さよう	—	7,800	—	10	長野ナカセンナリ	7,116	7,395	279	188
鳥取すこがね	—	6,300	—	10	静岡フクユタカ	6,242	6,509	267	32
島根フクユタカ	—	6,703	—	59	宮城ミヤギシロメ	6,512	6,770	258	397
山口フクユタカ	—	6,510	—	10	富山エンレイ	6,348	6,597	249	1,191
大分エルスター	—	6,510	—	16	香川フクユタカ	7,200	7,400	200	10
岡山サチユタカ	6,668	8,080	1,412	11	群馬タチナガハ	6,520	6,708	188	40
岡山トヨシロメ	6,652	7,478	826	32	島根サチユタカ	6,412	6,574	163	130
岩手スズカリ	6,073	6,760	687	10	高知フクユタカ	6,448	6,600	152	40
大分むらゆたか	6,383	7,055	672	20	北海道秋田	6,158	6,283	125	179
宮城タチナガハ	6,452	7,095	642	208	滋賀オオツル	6,699	6,813	114	303
広島サチユタカ	6,370	6,957	587	20	岩手ナンブシロメ	6,345	6,452	107	134
宮崎フクユタカ	6,251	6,820	569	10	石川エンレイ	6,183	6,255	73	149
栃木タチナガハ	6,171	6,737	566	471	福岡フクユタカ	6,825	6,892	67	1,140
長崎フクユタカ	6,639	7,168	529	176	福井エンレイ	6,473	6,504	31	248
青森おおすず	6,360	6,853	492	681	山口サチユタカ	6,595	6,624	29	139
山形あやこがね	6,210	6,700	490	10	鳥取サチユタカ	6,588	6,604	17	188
福島タチナガハ	6,225	6,715	490	129	滋賀ことゆたか	6,558	6,566	8	89
宮城あやこがね	6,114	6,600	486	30	滋賀フクユタカ	6,638	6,620	-18	824
島根タマホマレ	6,000	6,473	473	30	北海道ユキシズカ	7,338	7,275	-63	160
茨城タチナガハ	6,227	6,683	455	40	鳥取タマホマレ	6,700	6,460	-240	10
新潟エンレイ	6,308	6,745	437	1,320	富山オオツル	6,920	6,662	-258	119
宮城タシレイ	6,177	6,603	427	30	千葉フクユタカ	7,173	6,890	-283	30
山形リュウホウ	6,259	6,677	418	30	滋賀タマホマレ	6,600	6,263	-337	89
秋田リュウホウ	6,127	6,536	409	328	三重フクユタカ	7,209	6,863	-346	1,638
山形エンレイ	6,209	6,589	380	488	北海道スズマル	8,594	8,221	-373	519
兵庫サチユタカ	6,828	7,205	377	20	愛媛フクユタカ	7,288	6,723	-564	228
熊本フクユタカ	6,586	6,925	339	849	北海道音更大袖振	9,084	8,468	-616	168
佐賀フクユタカ	6,827	7,141	315	896	岐阜フクユタカ	7,680	6,954	-725	1,196
大分フクユタカ	6,712	7,016	304	357	愛知フクユタカ	7,865	7,004	-861	2,003
茨城納豆小粒	8,251	8,545	294	40					

注. 各県の産地品種銘柄に係る品種毎の大豆の平均落札価格である。当該品種の大豆であって、粒区分で産地品種銘柄に該当しない数量を含めて算出した。

21

図 I - 1 - 9 北海道とよまさり月別落札価格・落札数量推移



22

表 I - 1 - 12 北海道とよまさり品種別落札状況(年産比較)

事項	品種	平成19年産	平成20年産	平成21年産	平成22年産
落札数量 (トン)	トヨムスメ	1,220	445	1,009	1,362
	トヨコマチ	407	20	129	136
	トヨハルカ	157	89	416	22
	ユキホマレ	4,304	1,269	1,688	975
	トヨホマレ	377	90	129	11
	小計	6,465	1,913	3,371	2,507
落札率	トヨムスメ	49.2%	15.4%	64.1%	56.0%
	トヨコマチ	27.1%	1.6%	9.0%	9.0%
	トヨハルカ	18.8%	5.7%	27.0%	10.4%
	ユキホマレ	65.7%	9.0%	10.5%	11.9%
	トヨホマレ	29.3%	9.2%	11.7%	11.2%
	平均	51.1%	9.2%	15.5%	20.1%
落札価格 (円/60kg)	トヨムスメ	7,558	7,498	6,704	6,705
	トヨコマチ	8,021	7,520	5,795	6,549
	トヨハルカ	8,150	7,286	5,981	6,310
	ユキホマレ	8,349	7,439	6,151	6,331
	トヨホマレ	7,923	7,411	5,737	6,820
	平均	8,149	7,445	6,266	6,548

23

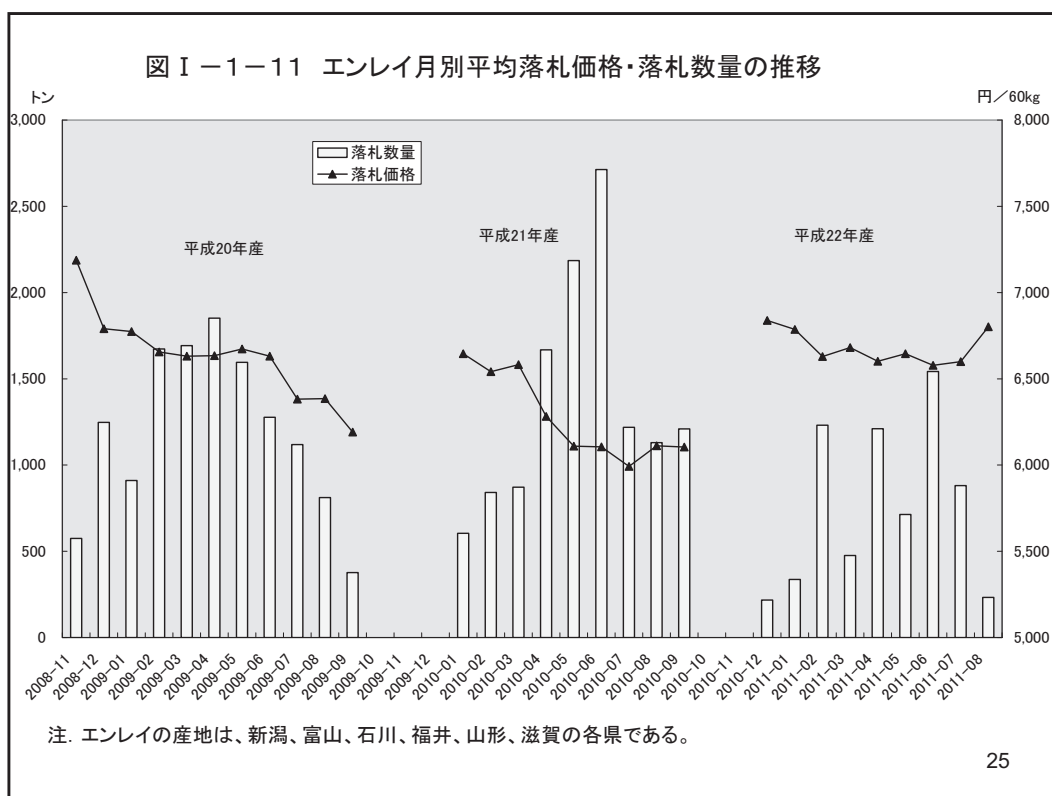
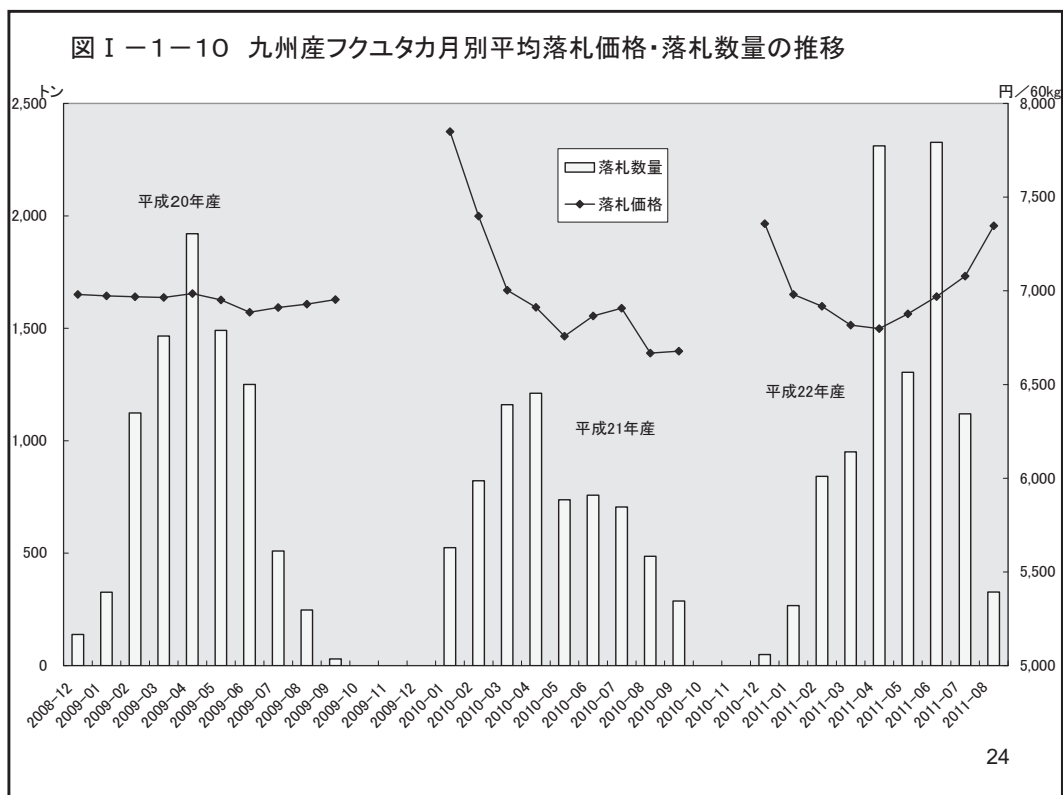
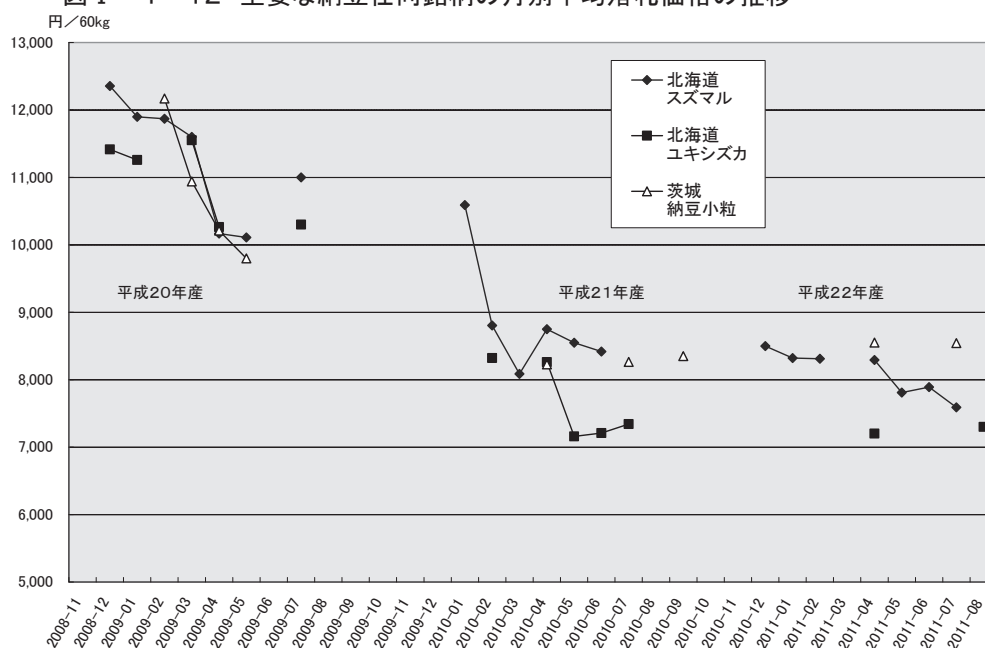


図 I - 1 - 12 主要な納豆仕向銘柄の月別平均落札価格の推移



26

表 I - 1 - 13 主要な納豆仕向銘柄落札状況(年産比較)

単位:トン

区分		平成19年産	平成20年産	平成21年産	平成22年産
上場数量	北海道スズマル	1,515	1,991	1,878	2,328
	北海道ユキシズカ	228	1,233	4,424	3,809
	茨城納豆小粒	476	1,370	1,628	1,004
	小計	2,218	4,593	7,929	7,142
落札数量	北海道スズマル	1,515	381	327	259
	北海道ユキシズカ	228	253	386	80
	茨城納豆小粒	476	347	169	40
	小計	2,218	981	882	379
落札率	北海道スズマル	100.0%	19.1%	17.4%	11.1%
	北海道ユキシズカ	100.0%	20.5%	8.7%	2.1%
	茨城納豆小粒	100.0%	25.3%	10.4%	3.9%
	小計	100.0%	21.3%	11.1%	5.3%

27

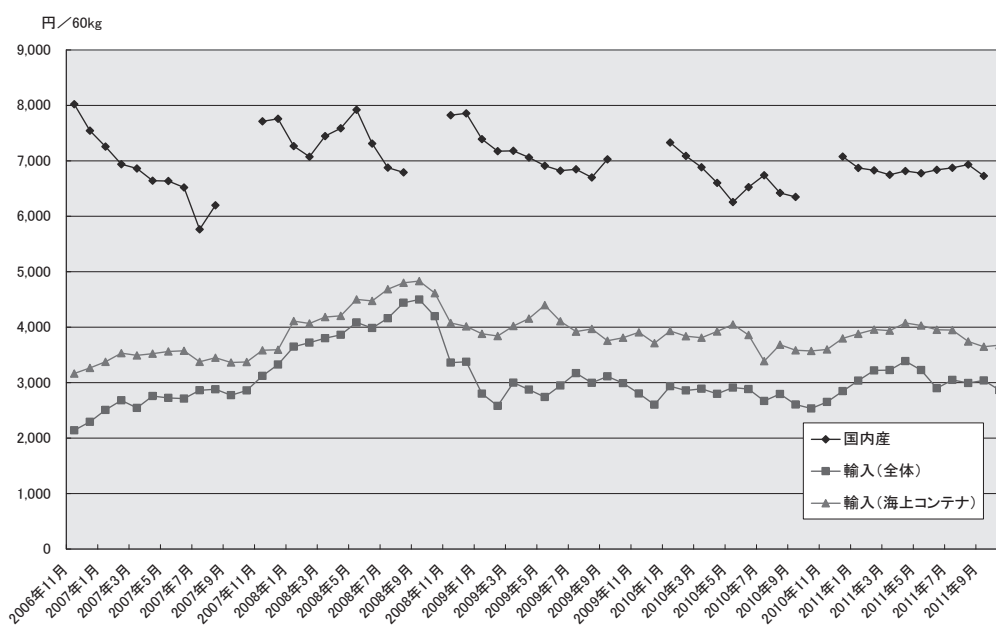
表 I - 1 - 14 主要納豆仕向銘柄落札価格(年産比較)

単位: 円/60kg

銘柄	平成19年産	平成20年産	平成21年産	平成22年産
北海道スズマル	17,777	11,611	8,594	8,221
北海道ユキシズカ	9,672	11,128	7,338	7,275
茨城納豆小粒	19,967	12,043	8,251	8,545
小計	17,415	11,639	7,978	8,055

28

図 I - 1 - 13 内外大豆価格推移(2006.11月～2011.10月)



資料: 国内産: 月別平均落札価格、輸入: 財務省貿易統計

29